



目次

基本デザイン要素	01
コミュニケーションロゴとエンブレム	02
校名ロゴタイプ	03
カラー再現規定	04
推奨書体	05
シグネチャシステム	06
使用禁止例	07
エンブレム・校名ロゴタイプの組み合わせ（推奨例）	08
エンブレム・校名ロゴタイプ反転・白フチ・単色使用例	09
エンブレム・校名ロゴタイプと住所の組み合わせ例	10
アイソレーション（不可侵領域）規定	11
透かしの使用例	12
校章の扱い	14

南山大学のVi(ヴィジュアル・アイデンティティ)デザインシステムは、下記の基本デザイン要素から構成されています。これらを大学内外の視覚的なコミュニケーションアイテムに繰り返し使用・展開していくことで、見る人々に南山大学のイメージがストック情報として蓄積され、築かれていきます。各要素それぞれの役割を十分理解し、使用してください。

コミュニケーションロゴ

コミュニケーションロゴは、南山大学の第2の創業期(2000年)を節目に絶えざる自己改革を実行するうえで、新しいVi(ヴィジュアル・アイデンティティ)システムの中核としてあらゆるコミュニケーションに関わる媒体全般に可能なかぎり使用していきます。

校名ロゴタイプ

校名ロゴタイプは、言葉や文字で確実に南山大学を認識してもらうため、特別にデザインされた専用の書体です。あらゆる視覚的コミュニケーションの場面で使用します。

NANZAN
UNIVERSITY

南山大学

NANZAN UNIVERSITY

南山
大学

基本カラー

色彩の面から南山大学のイメージを伝えます。基本カラーは、スクールカラーである「NANZAN ブルー」と「NANZAN ライトブルー」「NANZAN イエロー」です。コミュニケーションロゴとエンブレムの基本的な表示色として、またデザインアイテムの基調色・アクセント色として繰り返し使用・展開します。校名ロゴタイプや住所まわりはスミとしてください。



NANZAN ブルー



NANZAN ライトブルー



NANZAN イエロー



スミ

推奨書体

推奨書体は、南山大学の文字情報の伝達効果を高めるために、一般書体の中から選定されたものです。ここに表示された書体は現代的で読みやすく、学校案内やポスター等のコミュニケーションアイテムにも出来る限り使用してください。コミュニケーションロゴや校名ロゴタイプともよく調和します。

あいうえおカキクケコ佐之寸世曾

あいうえおカキクケ佐之寸世曾

あいうえおカキクケコ佐之寸世曾

あいうえおカキクケコ佐之寸世曾太知川照飛

あいうえおカキクケコ佐之寸世曾太知川照飛

ABCDEFGHabcdefgh1234567890

ABCDEFGHabcdefgh1234567890

ABCDEFGHabcdefgh1234567890

ABCDEFGHabcdefgh1234567890

ABCDEFGHabcdefgh1234567890

エンブレム

エンブレムは、コミュニケーションロゴのもつ国際性、現代性に、伝統ある格式や権威といったイメージを付加するために用意したものです。別紙「エンブレムの扱いについて」を参照し、使用・展開してください。



コミュニケーションロゴとエンブレムは、南山大学のイメージを伝える最も基本的な要素であり、南山大学の伝統性を表現しています。南山大学の目標や理念がこの形の中に集約され、あらゆる視覚的なコミュニケーションの場面で、それを人々に伝えます。原則として、校内外のすべての視覚的な伝達物に使用・展開します。

デザイン意図：

コミュニケーションロゴは、ZANを上昇させ、NとZを交じ合わせ、プラス思考・交流をイメージさせる十字を形づくったデザインです。十字はキリスト教の精神を表すと共に、今まで培ってきた伝統を大切にしながら、新しい付加価値を創造し、未来へ発展していこうとする「伝統と未来の調和」を象徴しています。ZANが上がっている形状は、向上心とチャレンジ精神など前向きな上昇志向を表現しています。

エンブレムは、コミュニケーションロゴのコンセプトと連動させた象徴性と権威性を強調したものです。NANを縦に、ZANを横に組合せ、人が手でクロスを描いた形を表し、キリスト教の精神を象徴した独自性と知性の標章です。クロスの中には、アルファベットの先頭文字Aが重なっています。Aは「No.1、最高位」を意味し、国際的にもトップに輝く南山大学を表出しています。

コミュニケーションロゴ



エンブレム



校名ロゴタイプは、言葉や文字で確実に南山大学を認識してもらうためのものです。

校名ロゴタイプは特別にデザインされた文字ですから、これを変形したり、字間をあけるなど組み方を変えたり、他の書体を使用することはできません。必ず再生用データまたは清刷りから再現してください。

ただし、文章中には文章で使用している書体をそのまま使用します。

和文校名ロゴタイプ

横組み

縦組み

南山大学

南山大学

英文校名ロゴタイプ

NANZAN UNIVERSITY

コミュニケーションロゴの基本カラーは、スクールカラーである「NANZAN ブルー」。エンブレムの基本カラーは、「NANZAN ブルー」「NANZAN ライトブルー」「NANZAN イエロー」の3色です。
 「NANZAN ブルー」は誠実、知性、伝統性を「NANZAN ライトブルー」は創造性、未来、清々しさを「NANZAN イエロー」は希望、若々しさ、躍動感を表しています。
 この3色をコミュニケーションロゴとエンブレムの基本的な表示色として、またデザインアイテムの基調色・アクセント色として繰り返し使用・展開することで、南山大学のカラーイメージが形成され、より力強いイメージを伝えていきます。
 アイテムによって、色数の制限や何らかの制約等があり、基本カラー表現が困難な場合に限り、モノクロ表現を認めます。(単色刷りの新聞など) その他、特殊な効果が必要なアイテム(門標や賞状など)には、金・銀で表示することを認めます。
 ただし、デザイン展開上の効果や意図によって他の色で表現する場合は、白ヌキ(ネガ表示)で表示します。ロゴタイプや住所表記などの文字まわりは、基本的にスミで表現します。

基本カラー

PANTONE® 2748 C
 NANZANブルー
 特色/PANTONE 2748 C
 4色プロセス(近似色)/C100%+M100%

PANTONE® 2995 C
 NANZANライトブルー
 特色/PANTONE 2995 C
 4色プロセス(近似色)/C90%

PANTONE® 124 C
 NANZANイエロー
 特色/PANTONE 124 C
 4色プロセス(近似色)/M40%+Y100%

サブカラー

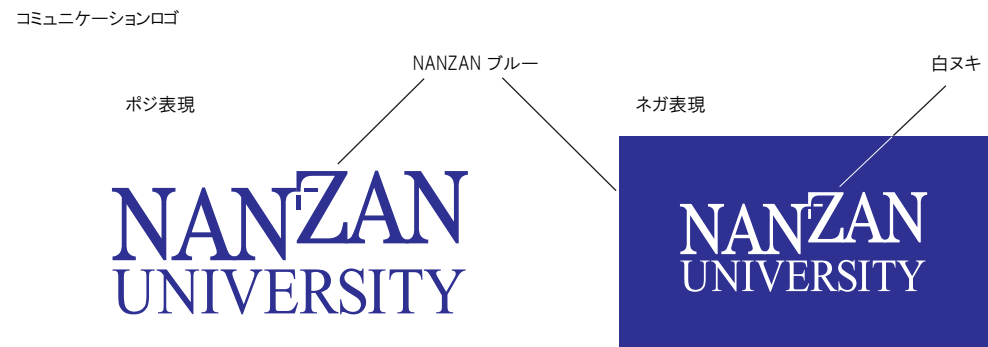
黒/スミ(BL100%)

白

金

銀

基本カラー表現



※コミュニケーションロゴを「NANZAN ライトブルー」または「NANZAN イエロー」で表現してはならない。

エンブレム



校名ロゴタイプ

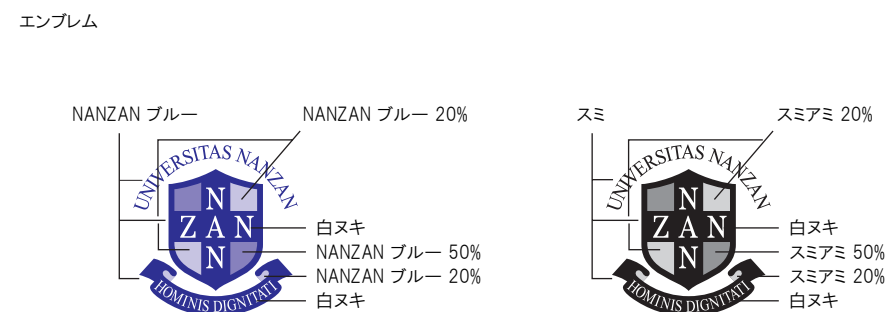
校名ロゴタイプは、基本的にスミで表現します。背景色が濃い場合は、白ヌキ(ネガ表現)も可とします。



モノクロ表現



単色アミ表現



特殊表現

銘版や賞状などに効果的に金・銀を使用できます。



背景色コントロール

コミュニケーションロゴとエンブレムは、白地に基本カラーで表示することを原則とします。ただし、展開物の特性、色数の規制のあるもの、また最初から背景色が決まっていたそこにコミュニケーションロゴ、エンブレムを表示する場合などのために、背景色コントロールを用意しました。下図を参照し、コミュニケーションロゴ、エンブレムのイメージを損なうことなく、いつも識別できるようにしてください。

	← コミュニケーションロゴ						エンブレム →				
白	NANZAN UNIVERSITY	NANZAN UNIVERSITY	NANZAN UNIVERSITY	NANZAN UNIVERSITY	NANZAN UNIVERSITY	NANZAN UNIVERSITY	Emblem	Emblem	Emblem	Emblem	Emblem
金	NANZAN UNIVERSITY	NANZAN UNIVERSITY	NANZAN UNIVERSITY	NANZAN UNIVERSITY	NANZAN UNIVERSITY	NANZAN UNIVERSITY	Emblem	Emblem	Emblem	Emblem	Emblem
銀	NANZAN UNIVERSITY	NANZAN UNIVERSITY	NANZAN UNIVERSITY	NANZAN UNIVERSITY	NANZAN UNIVERSITY	NANZAN UNIVERSITY	Emblem	Emblem	Emblem	Emblem	Emblem

推奨書体は、コミュニケーションロゴ、校名ロゴタイプと最も調和する書体を一般書体の中から選定し、デザイン要素として位置付けたものです。これらを可能なかぎりさまざまなアイテムに使用することで、「南山大学」のアイテムが統一的なイメージで発信され、より効果的なコミュニケーションを図ることができます。使用する目的に応じて、下記の書体の中から適切なものを選んでください。和文の文章中でも英文・数字はヘルベチカを使用します。なお、Windows用の書体は、下記のフォント適合表を参照してください。

和文と英文の理想的な太さの組合せ例			
写研(写植)	Macintosh用フォント		
和文／ゴシックファミリー	和文／ゴシックファミリー	英文・数字／ヘルベチカファミリー	
中ゴシック体(写研)	中ゴシック体	ヘルベチカ・ライト／Helvetica Light	
	あいうえおかきくけこさしすせそたちつてと アイウエオカキクケコサシスセソタチツテト 安以宇衣於加幾久計己佐之寸世曾太知川照飛	あいうえおかきくけこさしすせそたちつてと アイウエオカキクケコサシスセソタチツテト 安以宇衣於加幾久計己佐之寸世曾太知川照飛	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz 1234567890
ゴナM(写研)	新ゴL		
	あいうえおかきくけこさしすせそたちつてと アイウエオカキクケコサシスセソタチツテト 安以宇衣於加幾久計己佐之寸世曾太知川照飛	あいうえおかきくけこさしすせそたちつてと アイウエオカキクケコサシスセソタチツテト 安以宇衣於加幾久計己佐之寸世曾太知川照飛	
ゴナD(写研)	新ゴR		
	あいうえおかきくけこさしすせそたちつてと アイウエオカキクケコサシスセソタチツテト 安以宇衣於加幾久計己佐之寸世曾太知川照飛	あいうえおかきくけこさしすせそたちつてと アイウエオカキクケコサシスセソタチツテト 安以宇衣於加幾久計己佐之寸世曾太知川照飛	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz 1234567890
ゴナDB(写研)	新ゴM		
	あいうえおかきくけこさしすせそたちつてと アイウエオカキクケコサシスセソタチツテト 安以宇衣於加幾久計己佐之寸世曾太知川照飛	あいうえおかきくけこさしすせそたちつてと アイウエオカキクケコサシスセソタチツテト 安以宇衣於加幾久計己佐之寸世曾太知川照飛	
ゴナB(写研)	新ゴB		
	あいうえおかきくけこさしすせそたちつてと アイウエオカキクケコサシスセソタチツテト 安以宇衣於加幾久計己佐之寸世曾太知川照飛	あいうえおかきくけこさしすせそたちつてと アイウエオカキクケコサシスセソタチツテト 安以宇衣於加幾久計己佐之寸世曾太知川照飛	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz 1234567890
ゴナE(写研)	新ゴU		
	あいうえおかきくけこさしすせそたちつてと アイウエオカキクケコサシスセソタチツテト 安以宇衣於加幾久計己佐之寸世曾太知川照飛	あいうえおかきくけこさしすせそたちつてと アイウエオカキクケコサシスセソタチツテト 安以宇衣於加幾久計己佐之寸世曾太知川照飛	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz 1234567890

フォント適合表			
	写研(写植)	Macintosh	Windows
和文	中ゴシック体	中ゴシックBBB M中ゴシックBBB	モリサワ View Font中ゴシックBBB MSゴシック、MSPゴシック
	ゴナファミリー	新ゴファミリー	モリサワ View Font新ゴファミリー FGP平成角ゴシック体ファミリー
英文 数字	ヘルベチカファミリー	ヘルベチカファミリー	ヘルベチカファミリー

※FGP=Font Gallery TrueType Font

その他タイムスニューローマンレギュラー／ボールド(Times New Roman Regular／Bold)も使用することができます。

コミュニケーションロゴやエンブレムの素となっている書体です。ポスター、パンフレットのタイトル(題字)等にグラフィックエレメントとして使用するとコミュニケーションロゴと統一感が保たれ、効果的です。

・タイムス ニューローマンレギュラー／Times New Roman Regular

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
1234567890

・タイムス ニューローマンボールド／Times New Roman Bold

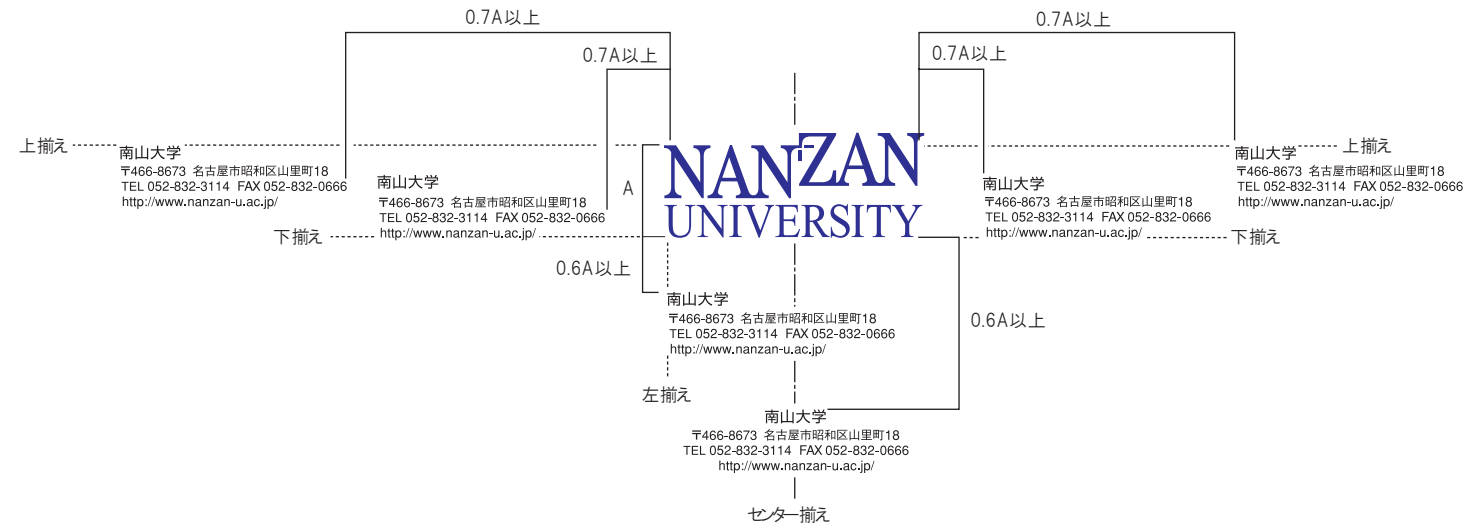
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
1234567890

コミュニケーションロゴと校名ロゴタイプ・住所を組合わせて表示する際の位置基準です。
 コミュニケーションロゴと校名ロゴタイプ・住所の大きさのバランスやレイアウトは、表示スペースおよび個々のアイテムの機能、目的により変化しますので、
 その都度、最適なバランス、レイアウトを検討する必要があります。下記は、表示の際の目安にしてください。

コミュニケーションロゴと校名ロゴタイプの組合せ基準



コミュニケーションロゴと校名ロゴタイプ・住所の組合せ基準



校名ロゴタイプと住所の組合せ基準

使用書体
 住所表記／和文：中ゴシック
 英文・数字：ヘルベチカ・ライト／Helvetica Light
 ※和文と英文・数字を組合わせる際、和文に天地が揃って見えるように、英文・数字の級数を1級以上大きくして組合せます。
 ※校名ロゴタイプの天地をA(基準)とする。

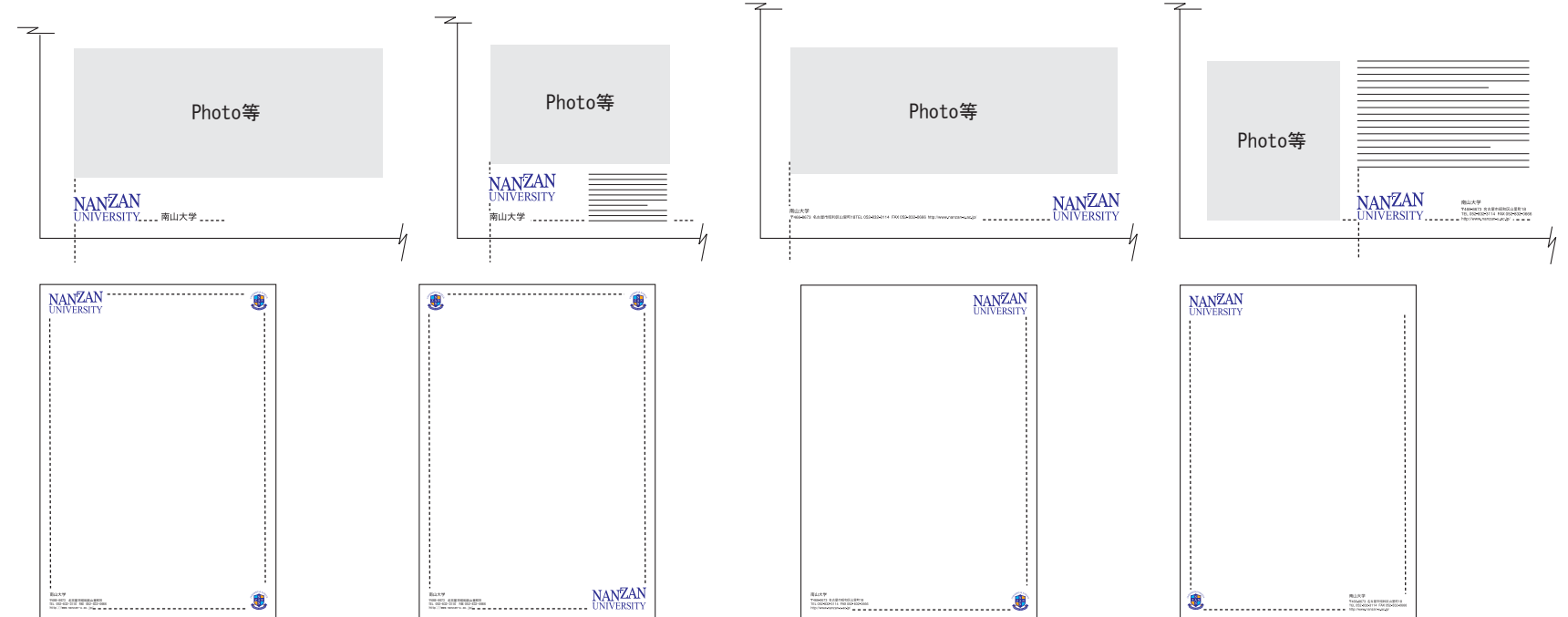


展開例



展開例

広告などでのコミュニケーションロゴと校名ロゴタイプ、エンブレム、住所の位置関係の展開例です。



コミュニケーションロゴと校名ロゴタイプ、住所を話して表記した場合



コミュニケーションロゴ、エンブレムをはじめ各要素は、正しく使用することにより、はじめて本来の機能を十分に発揮し、望ましいイメージを人々に伝えることができます。各要素の誤った使用は、イメージの統一性を損なうことだけでなく、イメージダウンにもつながります。使用にあたっては、必ず本マニュアルの規定に従ってください。ここにコミュニケーションロゴ、エンブレムと校名ロゴタイプの誤用例を示します。

規定外の色で表示してはならない



変形させてはならない



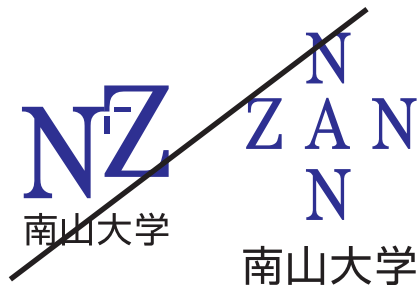
影を付けたり、他の要素を近づけてはならない



特異な枠で囲み、コミュニケーションロゴまたはエンブレムにデザインを付加したように見せてはならない(ステッカー、ワッペンなど外の形状はのぞく)



分解したり、一部を取り出してシンボルとしてはならない



差別化しにくいパターンや図の上に表示してはならない



識別しにくい地色に表示してはならない



校名ロゴタイプの文字の間隔を変えたり、一部を取り出してはならない



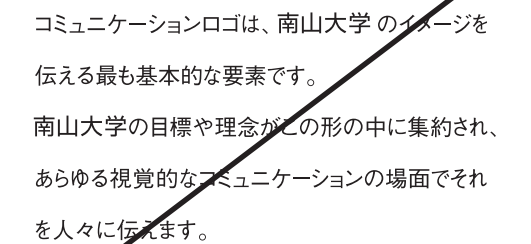
校名ロゴタイプを変形してはならない



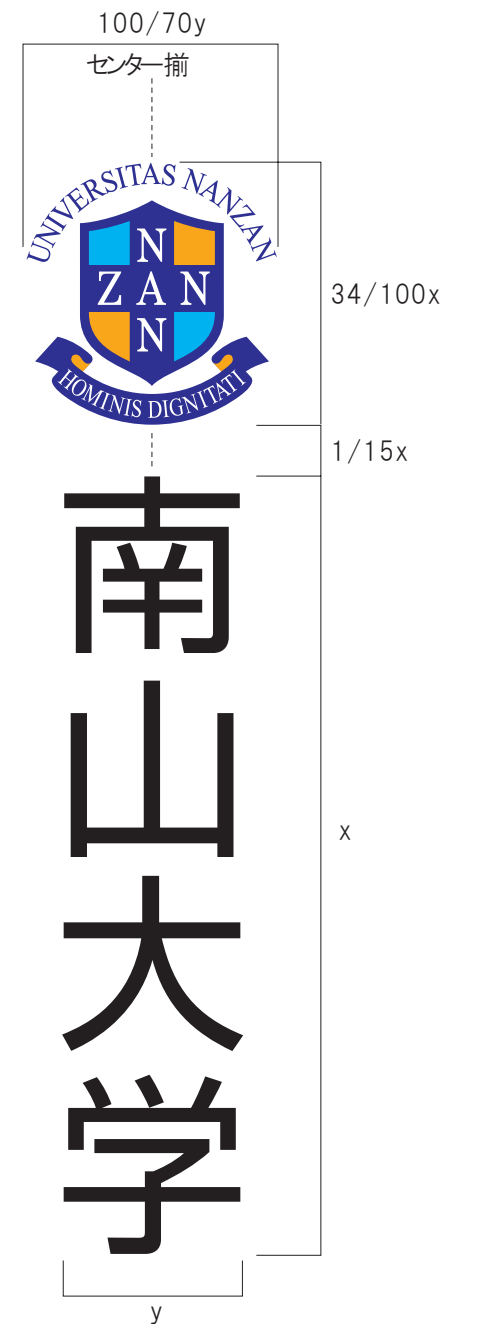
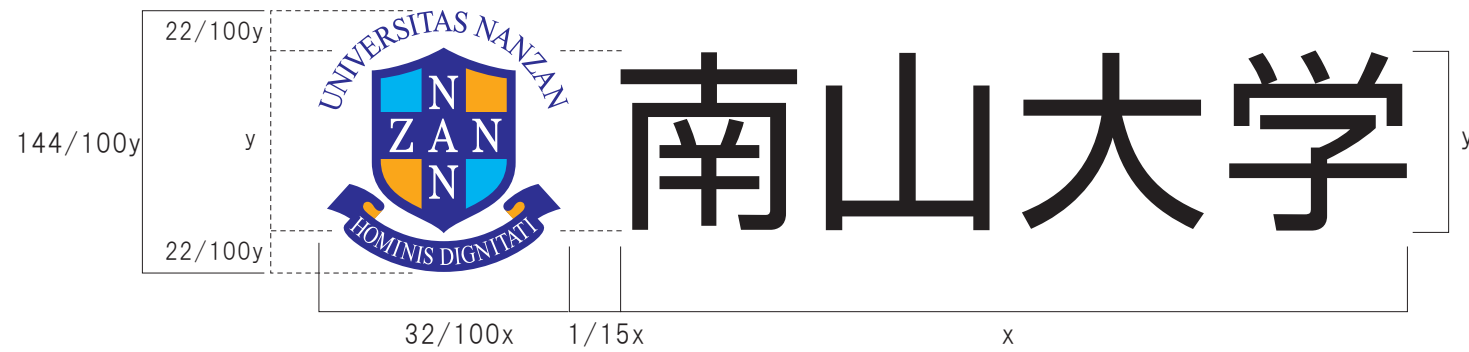
住所等の文字まわりを規定以外の書体で表示してはならない



文章中にロゴタイプを表示してはならない (文章中では文章で使用している書体をそのまま使用する)



エンブレムと校名ロゴタイプを一体として使用する場合は、以下の比率を守ってください。



背景が濃い色や写真の場合など通常の規定色が使用困難な場合で、可読性を高めるために反転・白フチ・単色とする場合は以下の規定に従ってください。
また、シルク印刷・刺しゅう等の単色表現で中間色が使用できない場合も以下の規定に従ってください。

反転表現

校名ロゴタイプは白抜きとし、エンブレムには白フチを付けます。ただし、エンブレム上部の「UNIVERSITAS NANZAN」の文字は白フチを付けず白抜きとします。白フチの太さの基準は下記の表にしています。

エンブレムの天地	白フチの太さ
25mm以上	エンブレムの天地×4/300mm
10mmを超え25mm未満	0.3mm
10mm以下	0.2mm



エンブレム天地30mm、白フチ0.4mm



エンブレム天地15mm、白フチ0.3mm



エンブレム天地10mm、白フチ0.2mm



エンブレム天地30mm、白フチ0.4mm

単色での表現

校名ロゴタイプを単色で表現する場合、刷り色は原則「スミ」ですが、可読性を高めるため「NANZAN ブルー」やその反転表現を使用することもできます。



単色での反転表現



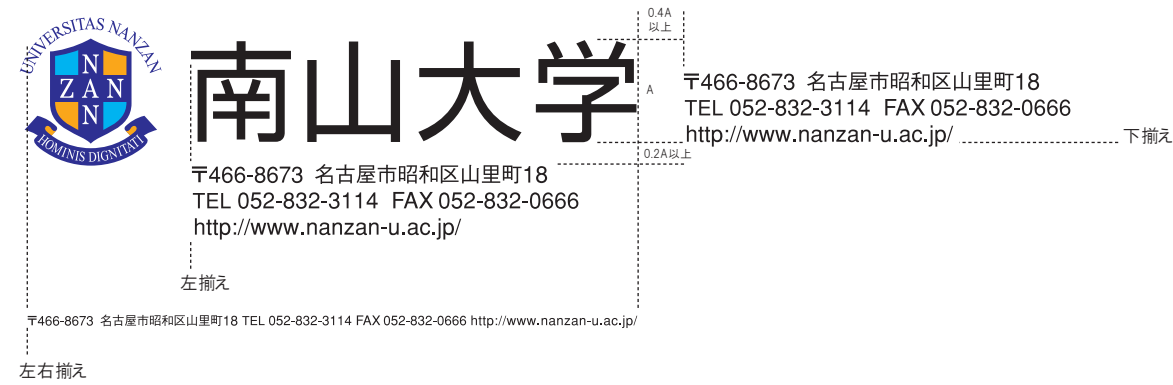
使用例



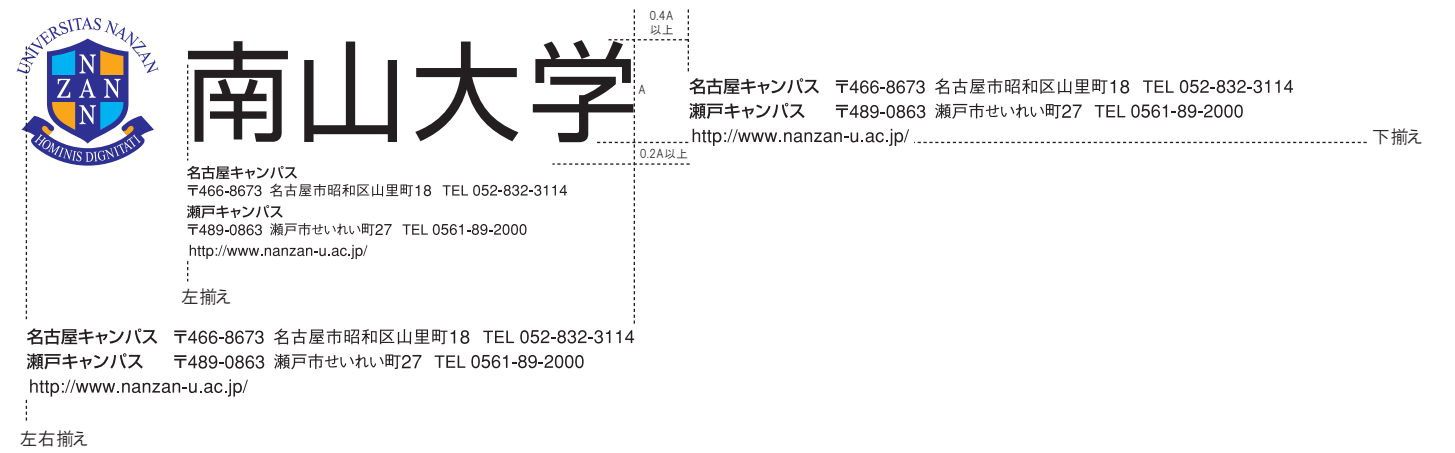
手旗(シルク印刷で白色インク使用)

校名ロゴタイプと住所の組み合わせは表示スペースやそれぞれのアイテムの目的によりさまざまに変化しますので個々にレイアウトを検討する必要があります。下記の作例を表示の目安にしてください。
 また、住所の表記は、各原稿で定められた最小ポイントを下回らないように注意してください。
 住所の表示に使用する書体等は07ページのシグネチュアシステムを参照してください。

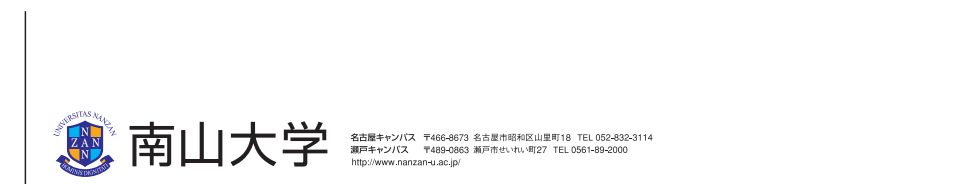
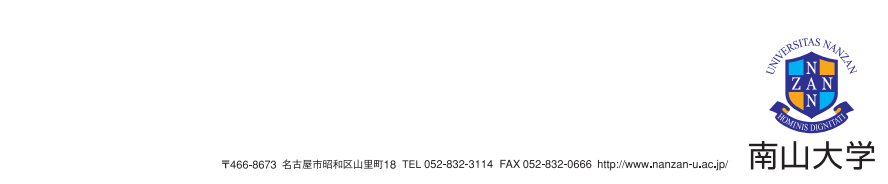
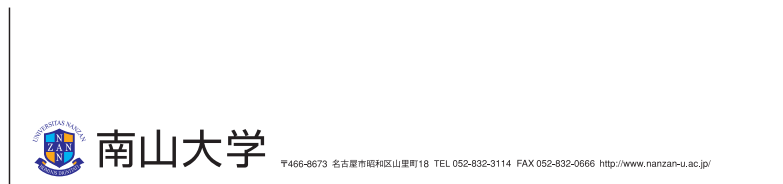
エンブレム・校名ロゴタイプと住所の位置関係



名古屋キャンパス、瀬戸キャンパス併記の場合

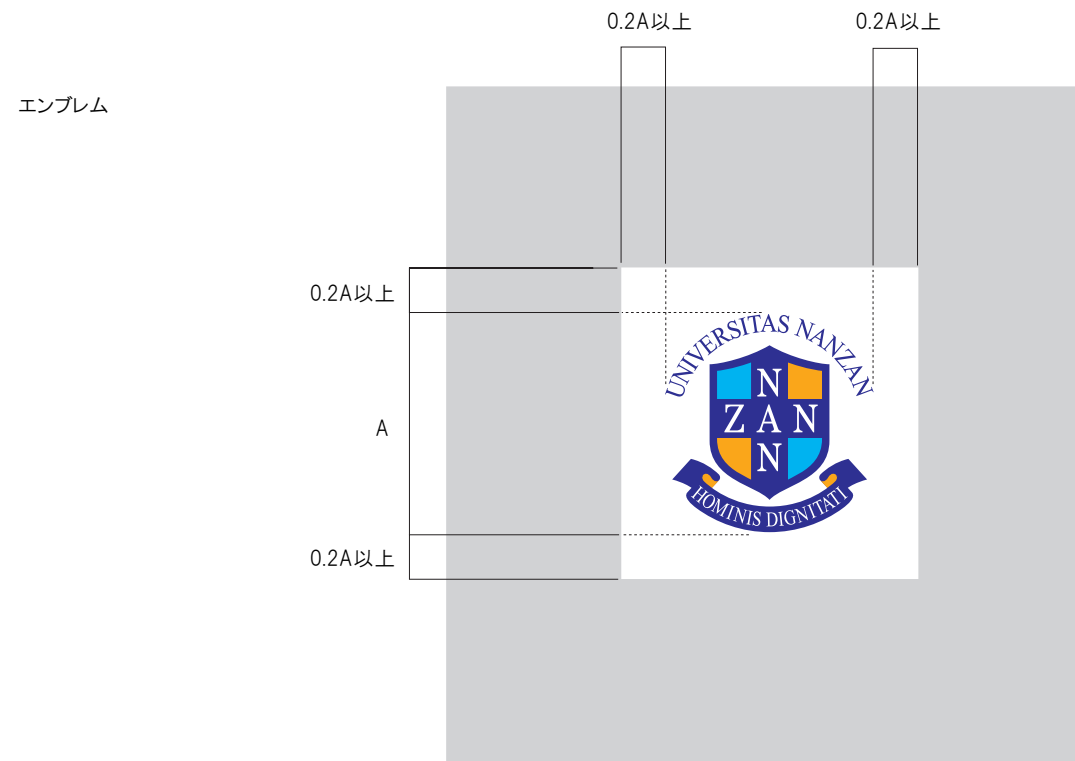
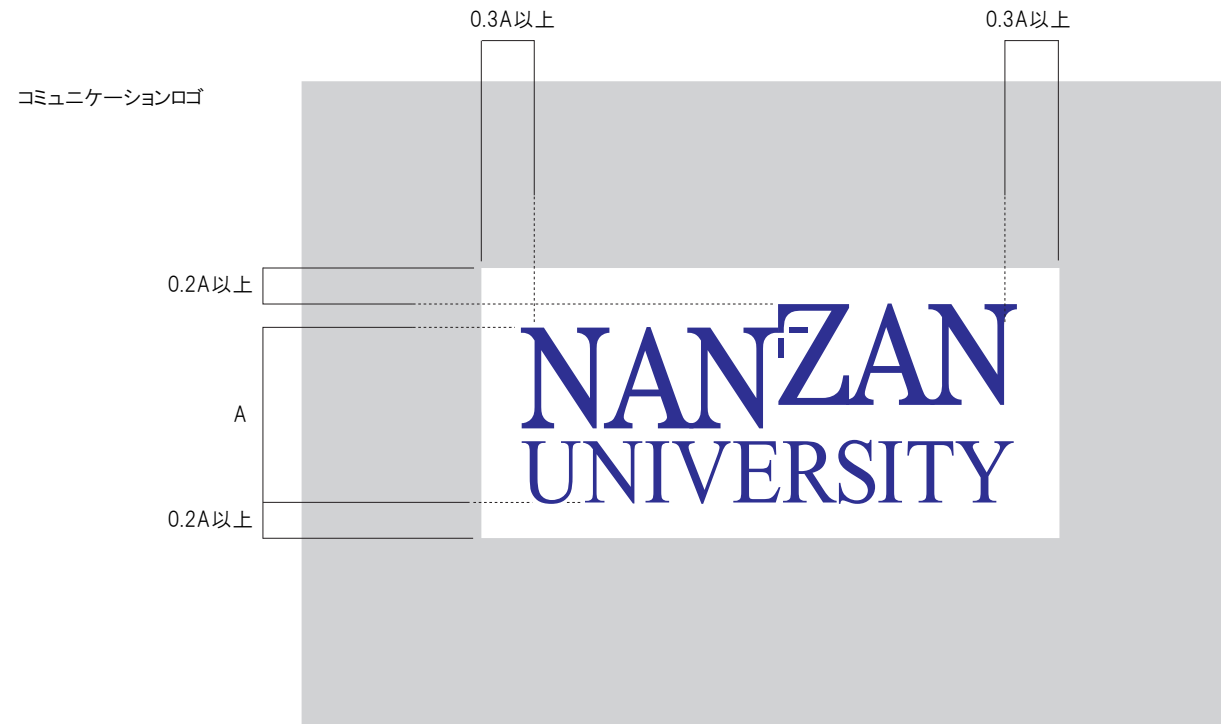


展開例



アイソレーション(不可侵領域)規定とは、コミュニケーションロゴやエンブレムの視認性を確保するため、コミュニケーションロゴやエンブレムと他の表示要素との間に十分なスペースを設けることです。これによりイメージの伝達効果を高く保つことができます。基準はコミュニケーションロゴやエンブレムと他の表示要素との最小の間隔を示したものです。なおアイソレーション規定外であっても、コミュニケーションロゴやエンブレムの近くに大きな文字・個性の強い文字・図形などの表示は、できる限り避けてください。ただし、例外としてスペースが限られている場合(アイテムの端、サイン等)は、アイソレーション規定適用外として取り扱うことができます。

狭小スペース用アイソレーション(不可侵領域)範囲



誤用例

左記の規定のアイソレーション範囲内に、図形・文字などを配した誤った例です。

コミュニケーションロゴ



エンブレム



エンブレム、コミュニケーションロゴを透かしとして使用する場合、可能な範囲で薄く印刷します。
 単色印刷の場合でスミアミ5%の再現が困難な場合は刷り色をグレーにするなどの対策を施してください。
 スミ以外の単色カラーで印刷する場合は必ず規定の「NANZAN ブルー」「NANZAN ライトブルー」「NANZAN イエロー」もしくはそれに準ずるインク色を使用し、それ以外の色は使用しないでください。
 また、印刷によらず漉き込みで表現することも可能です。
 原則として透かしの上には校名ロゴタイプ・エンブレム等を配置しないでください。

エンブレム



スミ1Cの場合:アミ5%



4Cの場合:C10%+M10%

NANZAN ブルー
PANTONE 2748 CVの場合:アミ10%

4Cの場合:C13%

NANZAN ライトブルー
PANTONE 2995 CVの場合:アミ10%

4Cの場合:M8%+Y23%

NANZAN イエロー
PANTONE 124 CVの場合:アミ20%

コミュニケーションロゴ



スミ1Cの場合:アミ5%



4Cの場合:C10%+M10%

NANZAN ブルー
PANTONE 2748 CVの場合:アミ10%

4Cの場合:C13%

NANZAN ライトブルー
PANTONE 2995 CVの場合:アミ10%

4Cの場合:M8%+Y23%

NANZAN イエロー
PANTONE 124 CVの場合:アミ20%

誤用例

透かしの上には校名ロゴタイプ等を配置できない



規定色以外は使用できない



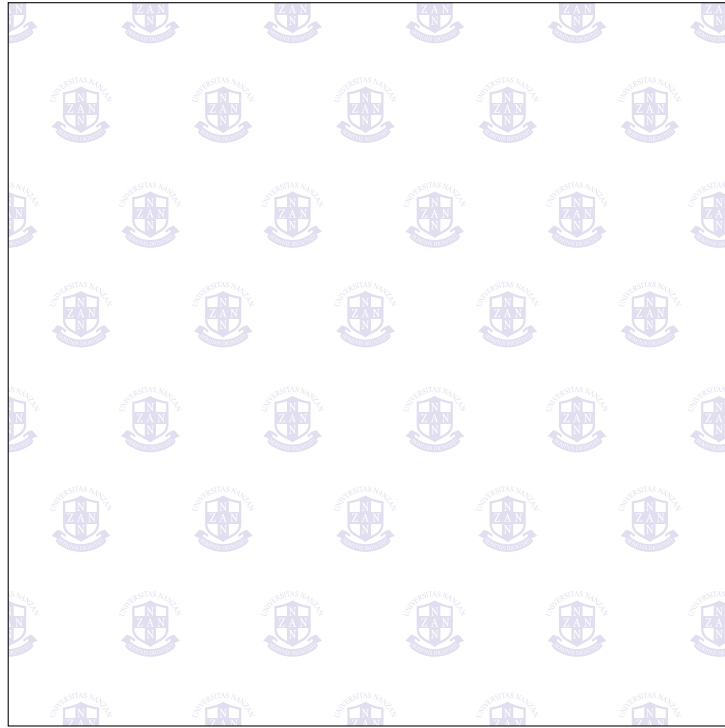
透かしの上にはエンブレム等を配置できない



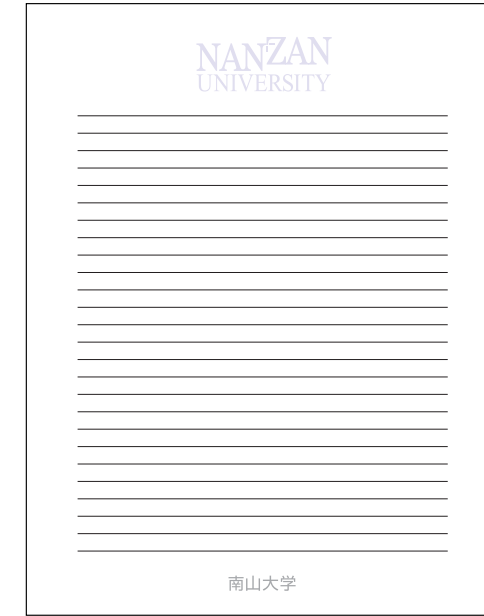
規定色以外は使用できない



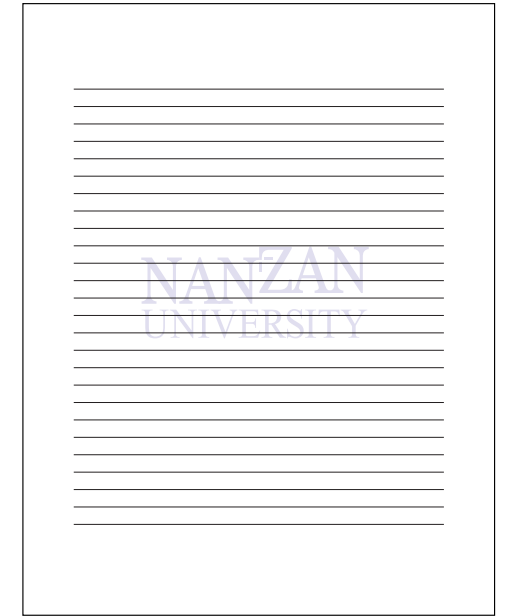
使用例



地紋として使用



レターヘッド



印刷によらず漉き込みによる透かしも可

校名ロゴタイプ、エンブレムは南山大学の理念や目標を集約したイメージを统一的に知らしめるため新しく規定されたものです。
したがって旧タイプのロゴは原則として使用できません。また、併記することも避けてください。
校章の利用は可能ですが、極力エンブレムを利用するよう努めてください。

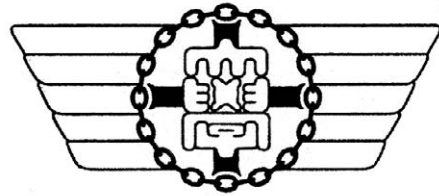
旧ロゴタイプ

~~南山大学~~

ロゴタイプ

南山大学

校章



エンブレム



誤用例

校章と組み合わせ



古いロゴと組み合わせ



古いロゴとの併用

